

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第24週(ARIのみ第23週)の発生動向

□ 全数報告の感染症 (24 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 6 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例。
4 類感染症：レジオネラ症 1 例。5 類感染症：梅毒 2 例、百日咳 55 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	男	右頸部リンパ節結核	その他
			60歳代	女	大腸結核	その他
			70歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			70歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			70歳代	男	肺結核	咳、痰
		都城	90歳代	女	肺結核及び粟粒結核	咳、痰、発熱
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	都城	0~4歳	女	—	水様性下痢、血便、発熱、 O血清群不明(VT1)
			50歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT1)
4類	レジオネラ症	延岡	40歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、意識障害、肺炎
5類	梅毒	宮崎市	10歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		日南	30歳代	女	無症状病原体保有者	なし

	疾患名	報告 保健所	報告数	年齢群								症状	
				0~4歳	5~9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	70歳代	80歳代		
5類	百日咳	宮崎市	16例	2	4	6		1			2	1	持続する咳、夜間の咳き込み、 呼吸苦、白血球数増多、 その他
		都城	16例		3	12	1						
		延岡	3例			1		2					
		日南	4例		1	3							
		高鍋	9例		1	8							
		高千穂	2例			1	1						
		日向	3例	1		1			1				
		中央	2例				2						

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・第 24 週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は 264 人(定点当たり 16.3)で、前週比 99%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、水痘、伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザ、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎であった。また、第 23 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,344 人(定点あたり 48.0)で、前週比 93%と減少した。

【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 41 人(2.7)で、前週比 85%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.1)の約 0.9 倍であった。年齢群別は 3 歳から 6 歳が全体の約半数を占めた。

【感染性胃腸炎】

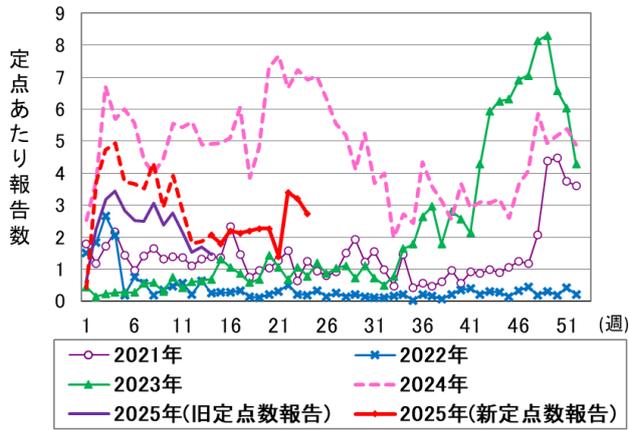
報告数は 106 人(7.1)で、前週比 91%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(8.3)の約 0.9 倍であった。年齢群別は 1 歳から 3 歳が全体の約 3 割を占めた。

【伝染性紅斑】

報告数は 28 人(1.9)で、前週比 117%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.5)の約 4.2 倍であった。年齢群別は 5 歳から 8 歳が全体の約 7 割を占めた。

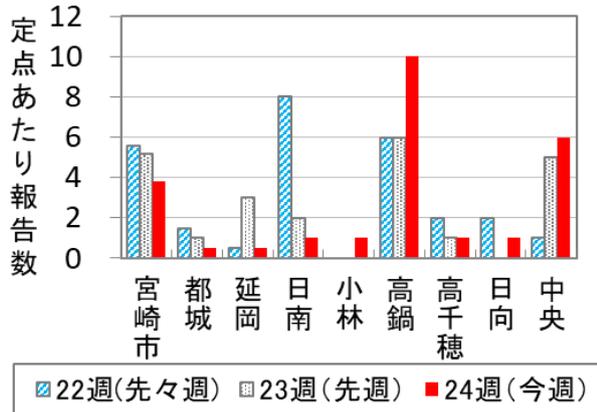
* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況

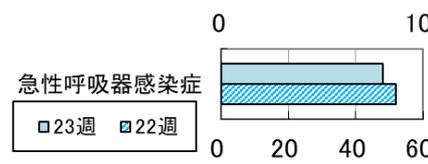
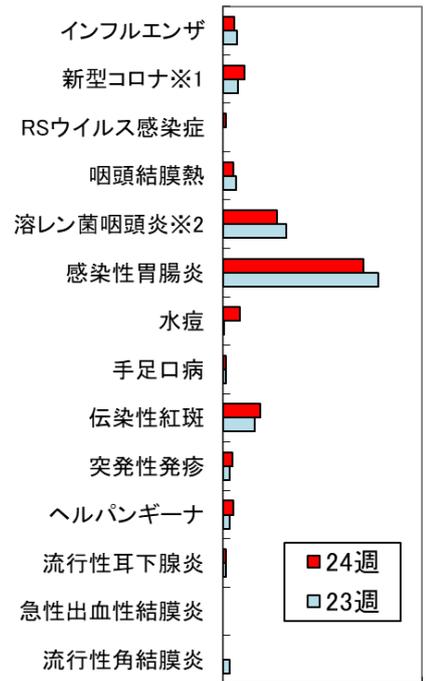


※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
保健所別推移(3週分)



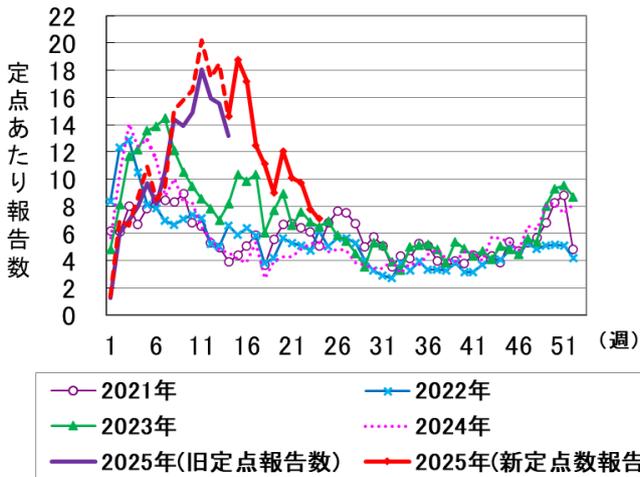
《前週との比較》



定点あたり報告数

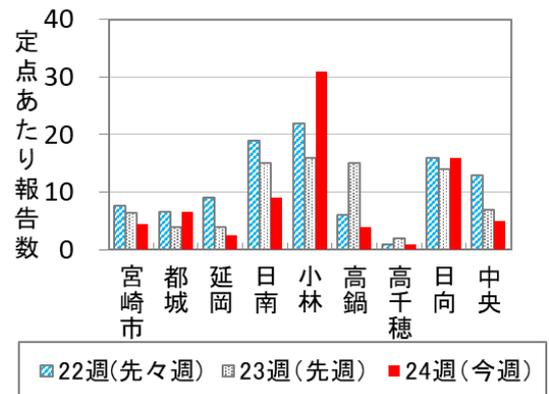
※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染性胃腸炎 発生状況

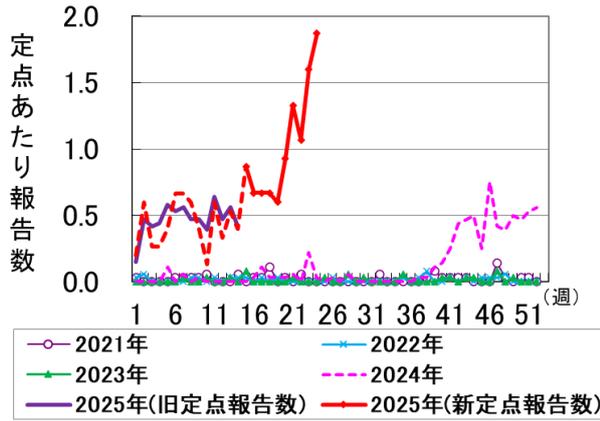


※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)

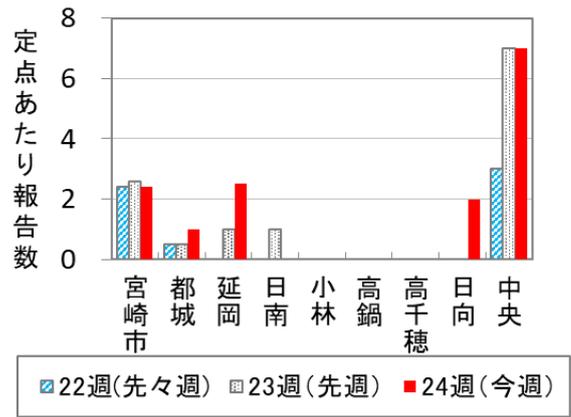


伝染性紅斑 発生状況



※2025年(新定点数報告)の第14週までは、新定点医療機関数をもとに算出した参考値

伝染性紅斑 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点当たり0.1)であった。宮崎市(1例)保健所から報告があった。年齢は5～9歳が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	水痘(1.4)、伝染性紅斑(2.4)
都城	なし
延岡	水痘(1.0)、伝染性紅斑(2.5)
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(31.0)、水痘(2.0)
高鍋	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.0)
高千穂	水痘(2.0)
日向	伝染性紅斑(2.0)
中央	伝染性紅斑(7.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・水痘(2)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行注意報レベル基準値※

- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部)

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(2025年第23週:6月2日～6月8日搬入分)

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス		1	
RSウイルス	A型	0	
	B型	0	
パラインフルエンザウイルス	1型	0	
	2型	0	
	3型	3	
	4型	0	
ヒトメタニューモウイルス		0	
ライノウイルス		1	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		0	
検出せず※2		8	
受付検体数		13	

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

✚ 全国 2025 年第 23 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	234 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	48 例	腸チフス	2 例		
4類感染症	E型肝炎	11 例	A型肝炎	1 例	エキノкокクス症	1 例
	オウム病	2 例	重症熱性血小板減少症候群	10 例	つつが虫病	4 例
	デング熱	4 例	日本紅斑熱	26 例	ライム病	1 例
	レジオネラ症	58 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	15 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	25 例
	後天性免疫不全症候群	5 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	56 例	水痘(入院例)	11 例	梅毒	181 例
	播種性クリプトкокクス症	4 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	3044 例
	麻しん	3 例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数（急性呼吸器感染症除く）は前週比 107%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザ、水痘であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 103%とほぼ横ばいであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 7,684 人(3.3)であった。例年同時期の定点当たり平均値* (3.1)の約 1.0 倍であった。茨城県(6.6)、愛媛県(6.6)、埼玉県(5.7)からの報告が多く、年齢群別では 4 歳から 7 歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 15,247 人(6.5)であった。例年同時期の定点当たり平均値* (6.5)の約 1.0 倍であった。島根県(13.7)、岐阜県(11.3)、愛媛県(11.0)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 5,370 人(2.3)であった。例年同時期の定点当たり平均値* (0.5)の約 5.1 倍であった。栃木県(7.2)、群馬県(6.7)、山形県(6.4)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 7 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

月報告対象疾患の発生動向 <2025年5月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は37人(2.9)で、前月比109%と増加した。また、昨年5月(2.7)の約1.1倍であった。

《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数21人(1.6)で、前月の約1.0倍、昨年5月の約0.9倍であった。

20歳代が全体の約半数を占めた。(男性3人・女性18人)

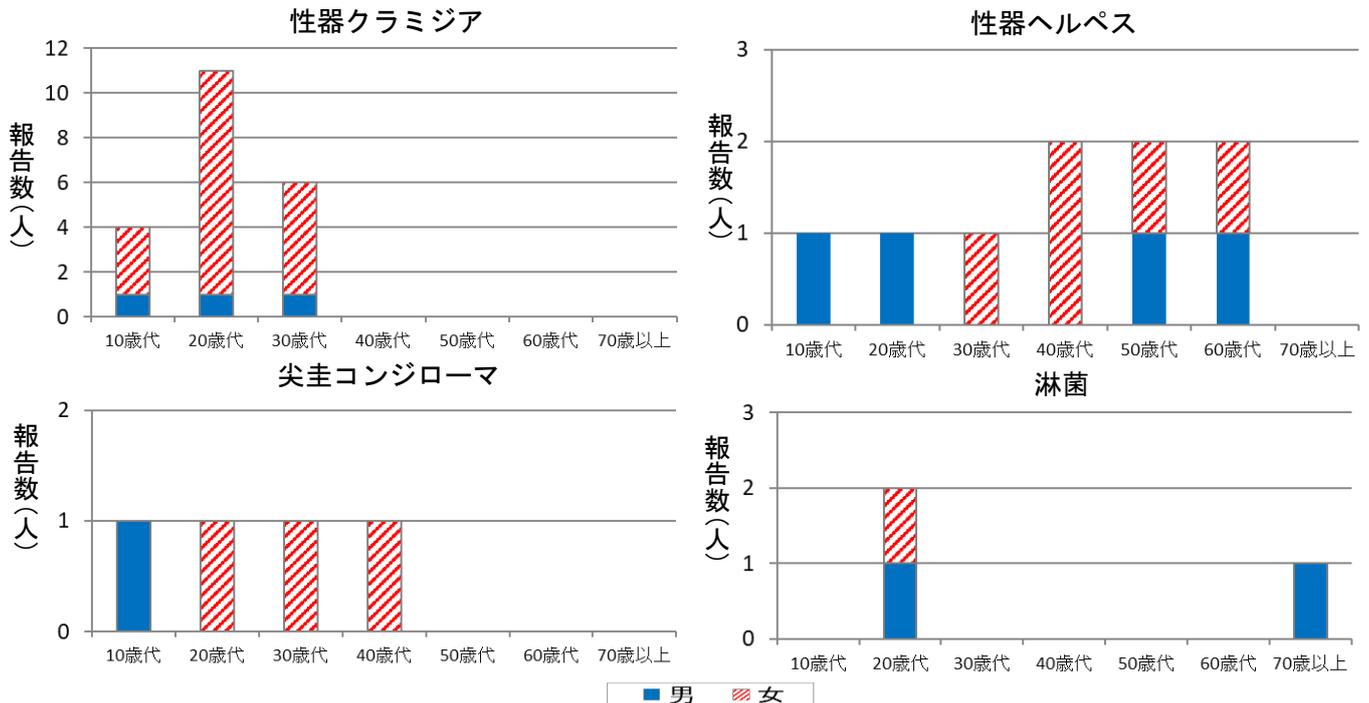
○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数9人(0.69)で、前月の1.8倍、昨年5月の3.0倍であった。

(男性4人・女性5人)

○尖圭コンジローマ：報告数4人(0.31)で、前月の2.0倍、昨年5月の1.0倍であった。

(男性1人・女性3人)

○淋菌感染症：報告数3人(0.23)で、前月及び昨年5月の0.6倍であった。(男性2人・女性1人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,524人(4.6)で、前月比104%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,413人(2.5)で前月比103%、性器ヘルペスウイルス感染症884人(0.90)で前月比100%、尖圭コンジローマ523人(0.53)で前月比98%、淋菌感染症704人(0.72)で前月比114%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は18人(2.6)で、前月比90%と減少した。また、昨年5月(2.4)の約1.1倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数18人(2.6)で、前月の0.9倍、昨年5月の約1.1倍であった。70歳以上が全体の半数を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,303人(2.7)で、前月比95%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,258人(2.6)で前月比96%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症40人(0.08)で前月比89%、薬剤耐性緑膿菌感染症5人(0.01)で前月比50%であった。

宮崎県 感染症情報

(41 定点医療機関)

2025年 第24週(06月09日～06月15日)

疾病名		第23週	第24週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	20	16	4		3			7			2
	定点当り	0.71	0.57	0.44	0.00	1.00	0.00	0.00	3.50	0.00	0.00	1.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	21	30	9	2	2		3	1	12		1
	定点当り	0.75	1.07	1.00	0.50	0.67	0.00	1.50	0.50	6.00	0.00	0.50
RSウイルス感染症	報告数		2			1	1					
	定点当り	0.00	0.13	0.00	0.00	0.50	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	10	8	3	3						2	
	定点当り	0.67	0.53	0.60	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	48	41	19	1	1	1	1	10	1	1	6
	定点当り	3.20	2.73	3.80	0.50	0.50	1.00	1.00	10.00	1.00	1.00	6.00
感染性胃腸炎	報告数	117	106	22	13	5	9	31	4	1	16	5
	定点当り	7.80	7.07	4.40	6.50	2.50	9.00	31.00	4.00	1.00	16.00	5.00
水痘	報告数	1	13	7		2		2		2		
	定点当り	0.07	0.87	1.40	0.00	1.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	2	2	2								
	定点当り	0.13	0.13	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	24	28	12	2	5					2	7
	定点当り	1.60	1.87	2.40	1.00	2.50	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	7.00
突発性発しん	報告数	5	7	4		1		2				
	定点当り	0.33	0.47	0.80	0.00	0.50	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	5	8	1	2	2	1		1			1
	定点当り	0.33	0.53	0.20	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	2									2
	定点当り	0.13	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2										
	定点当り	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	2	1	1								
	定点当り	0.29	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2025年 第23週(06月02日～06月08日)

		第22週	第23週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1452	1344	315	60	173	116	215	76	75	175	139
	定点当り	51.86	48.00	35.00	15.00	57.67	58.00	107.50	38.00	37.50	87.50	69.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～24週 保健所受理分)

2類感染症	結核	54例(6)											
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6例(2)										
4類感染症	E型肝炎	2例				A型肝炎	1例				重症熱性血小板減少症候群	2例	
	つつが虫病	8例				デング熱	1例				日本紅斑熱	12例	
	レジオネラ症	3例(1)											
5類感染症	アメーバ赤痢	2例				ウイルス性肝炎	1例				急性脳炎	2例	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8例				後天性免疫不全症候群	2例				侵襲性肺炎球菌感染症	17例	
	水痘(入院例)	1例				梅毒	70例(2)				播種性クリプトコックス症	1例	
	破傷風	1例				百日咳	997例(55)						

()内は今週届出分、再掲